

「野外体験活動実践WEEK」報告

実施日：令和2年8月1日（土）～9日（日） 9日間（日程選択）

【目的・趣旨／概要】

小中学校の教員などの指導者が、当施設の活動プログラムを体験することで、利用する際のねらいや安全管理面について、理解を深める。また、指導者が実際に体験活動を楽しむことで、指導者自身が体験活動の良さに気づき、指導に役立つようにする。

【連携先】（団体名・講師名・連携内容等）

・当施設研修指導員 三村 正 氏

【募集対象／実績】

《募集対象》小中学校教職員

《実績》延べ23名（小学校10校16名 中学校2校7名）

- | | | | |
|-------------------|----|-------------------|----|
| ① 8月3日（月）沢歩きハイキング | 2名 | ② 8月4日（火）剣桂ハイキング | 1名 |
| ③ 8月4日（火）沢歩きハイキング | 4名 | ④ 8月5日（水）沢歩きハイキング | 2名 |
| ⑤ 8月6日（木）沢歩きハイキング | 2名 | ⑥ 8月8日（土）剣桂ハイキング | 4名 |
| ⑦ 8月9日（日）沢歩きハイキング | 6名 | ⑧ 8月9日（日）剣桂ハイキング | 2名 |

※パノラマハイキングの参加者は0名であった。



【プログラム内容】（企画にあたって特に工夫したこと）

【企画の経緯】

2年前までは、6月の平日に「指導者のための体験活動研修会」を、昨年度は8月下旬に1泊で「体験活動スキルアップセミナー」を開催。しかし、参加形態が参加しづらいとのことで、参加者が少なかった。そこで、今年度は、8月上旬に3つのハイキングプログラムに限定し、募集した。週末、平日とそれぞれ参加しやすい日程を選択できるように、9日間の期間で実施した。

【沢歩きハイキング】（5回実施16名参加）

本館から徒歩30分程度のところにある阿武隈川の支流である堀川を歩くハイキングコースである。「沢歩き」という名称だが、コースの大半は、川べりを歩くことができる。当施設のキャンプ場をゴールとし、そこから、約30分で本館まで戻ることができ、休憩を入れながら2時間から3時間のコースである。

このコースは、小学校5年生理科の学習「流れる水のはたらき」の単元での学習に適した地形となっている。宿泊学習で利用された際に、この体験活動プログラムを教科等に関連できるようになっていることを確認しながら、体験した。

【剣桂ハイキング】（3回実施7名参加）

本館の裏から1時間ほど山を下り、国道を通過して、剣桂神社を目指すハイキングコースである。帰りは下りとは別コースがあり、一周するようなコースとなっている。休憩を入れながら3時間から4時間のコースである。剣桂神社の近くには阿武隈川の源流があり、水遊びもできるようになっている。「ハイキング」という名称だが、本館の裏の道は登山道ともいえる険しい道となっており、しっかりとした準備が必要である。

剣桂神社を目指すことのみを目的とするのであれば、「きびたきの森トレーニングコース」を通ることもできるが、短時間で登山体験をすることが目的であれば、国道に出た後そのまま施設へと戻るコースもあることを確認した。

【成果】（目的に対する評価、参加者のコメント等）

- ・直前の広報にもかかわらず、延べ23名の参加者が集まった。すべての参加者が希望する日程、希望する活動を体験することができた。
- ・週末、平日と関係なく設定したため、参加者自身が参加しやすい日を選ぶことができ、多くの方に体験していただくことができた。
- ・引率者として利用することが前提となっている参加者が多く、実地踏査の代替とするなど、目的意識をもって活動する参加者が多かった。
- ・参加者の多くが、引率者としての視点だけでなく、実際に活動自体を楽しむことができた。
- ・複数校が同じ日程、同じ活動をした際には、安全管理の面などで情報交換をシェアすることができた。
- ・沢歩きハイキングでは、理科の学習に沿った視点などを、確認することができた。
- ・剣桂ハイキングでは、目的に合わせたコースを選択できることを確認することができた。

《参加者の声》

「下見ができ、役に立ちました。」「不安に思っていたことが明らかになりました。」「注意点や楽しみを詳しく教えて頂けて助かりました。」「丁寧に案内してくださり安心でした。」「子供たちを連れてくるのが楽しみになりました。」「体験してみて気づくことが多くあり、参加してよかったです。」「夏休みのはじめということで、参加しやすい時期でした。」等

【課題と方策】

- ・複数校の参加があった際には、交流する手立てを講じる必要があった。
- ・今回は、全日程天候に恵まれたが、荒天時のプログラムを計画しておく必要があった。
- ・コースタイムだけでなく、標高も資料に記載があるとわかりやすかった。

国立那須甲子青少年自然の家【作成】企画指導専門職：増田 直人

